

# 平成 22 年度第 1 回富山県環境審議会 大気騒音振動専門部会議事録の概要

1. 日 時 平成 22 年 6 月 25 日（金） 午後 2 時 30 分～ 4 時
2. 場 所 富山県民会館 707 号室
3. 出席者 委 員：長谷川部会長、田代特別委員、丁子専門員、原専門員、平原専門員  
事務局：堀生活環境文化部次長、浦田環境保全課長ほか

## 4. 議 事

### (1) 富山県大気環境計画（ブルースカイ計画）の見直しについて

事務局が計画の見直し案について説明した後、審議が行われた。今後、委員からの意見等を踏まえて見直し案を修正し、環境審議会で中間報告を行ったうえで、パブリックコメントを実施することとなった。

### (2) 微小粒子状物質 (PM2.5) の監視について

事務局が監視について説明した後、質疑が行われた。

## 【質疑応答】

### 議事（1） 富山県大気環境計画（ブルースカイ計画）の見直しについて

#### ① 項目名（「県民総参加の快適な大気環境の創造」）について

（委員）

「県民総参加の快適な大気環境の創造」という項目名において、「県民総参加」という言葉を入れた理由は何か。なくてもよいように感じる。「県民総参加」という言葉が、「行政が強制的に全ての県民を参加させる」というふうに捉えられるおそれはないか。県民の一人として、自分がやりやすいところから大気環境を快適にすることを実践しようとする根拠になりかねないので、懸念する。例を挙げれば、煙草の匂いが大気の快適さを損なっているのに、それを排除することは県の意向に沿ったものである、という行動である。行政がその結果を想定していたかどうかは別にして、行政がある方針を立てると、弱い立場にある人や部分がスケープゴート（身代わり）になり、方針は予定通り遂行されました、と主張する際の根拠になることはよくある。

（事務局）

煙草の匂いについては、快適な大気環境の創造として想定していない。

（委員）

「総参加」という言葉には、「一人ひとりができることを、少しずつでも、みんなでやっていく」という心意気が感じられ、ふさわしいと思う。

（委員）

従来の公害対策に重点を置き、測定値だけで大気環境を評価していた「人間不在」とも言えるやり方から、大気環境の快適さを追求していく「人間くささ」も評価して

いこう、という趣旨が織り込まれ、上意下達ではなく、「みんなで参加しよう」という意味では、適当ではないか。

(委員)

「総参加」の「総」は削除し、「参加」としてもよいのではないか。

(委員)

県民が総参加した運動自体は悪くはないが、行政がこのように計画に記載することは命令とも捉えられるおそれがあるため、違和感がある。

(事務局)

県としては、各主体が自主的に出来る範囲で参加をしていただくということを考えており、今よりも一歩進めた取組みになるよう支援することが行政の役割と考える。

ご意見を踏まえ、例えば、「県民参加による快適な大気環境の創造」とするのはどうか。

(委員)

異議なし。

(委員)

項目名を「県民参加による快適な大気環境の創造」とし、本文の中に、「できるだけ多くの県民が自主的に参加した活動」という趣旨の内容を入れるよう修正することとします。

## ② 「県民総参加の快適な大気環境の創造」の目標について

(委員)

「県民総参加の快適な大気環境の創造」の目標に整備面積を入れているが、現状や施策について関連の記載がない。

(事務局)

ご指摘のとおり、見直し案では不十分であるため、現状や施策についても記載を充実する。

(委員)

この目標は「県民参加」を評価するのにふさわしいか。

(事務局)

里山林の整備は県民の参加を得て行っており、適していると考えている。都市公園の整備についても、県民の意見のもとに行っており、適していると考えている。

## ③ 快適な大気環境の創造に取り組む必要性の記述について

(委員)

アンケート結果より、大気環境が汚れていると感じたことについて、「感じ方は、個人によって評価の基準が異なるばかりでなく、文化や社会背景などの影響も受けるた

め、注意が必要である」とあるが、「注意が必要」という表現は適切か。これでは、どのような注意が必要かわからない。大気が以前より汚れていると感じた人の割合が増加した原因がわからないならば、原因の把握も含めて、今後の課題とするなどとするべきではないか。

(委員)

大気汚染物質が減少しているのに、満足度が下がっているというのは、快適な大気環境に県民が慣れてきて、感じ方が厳しくなったためではないか。以前は気にしなかったものが、気になるようになってきたという表れで、それ自体は悪いことではないので、「注意が必要」という言葉はふさわしくない。大気汚染物質濃度が下がれば、満足度は上がるべきと考えることが間違いであり、これまでとは異なったニーズが出てきているととらえるべきであろう。満足度というものを何らかの形で表現し、行政は県民が満足する施策を行っていかなければならない。このデータは、大気汚染物質濃度を減少させることに最重点を置いてきた従来の施策から方向転換しなければならないということを示唆しているのではないか。

(委員)

今までのような物理指標に基づいた評価からは予想できなかった、県民の心理的評価である満足度が低下しているという事実を踏まえ、今後は、県民の心理的評価も継続的に調査して評価に耐えうる指標を検討していく、という内容とすればよいと考える。そうすれば、説得力があり、他に類を見ない先進的な計画になるのではないか。

(事務局)

ご指摘のあった新たな県民ニーズについては、記載を充実させることとする。また、「注意が必要」という記載については、趣旨がより正確に伝わるような記載とする。

(委員)

大気環境がきれいかわれたか、というアンケートに併せて、その理由も聞いてみると、対策に生かせるのではないか。

(委員)

今までのアンケートの内容では不備があったため、今後は、不備を補うように把握していくということに対応するのが現状では適切ではないか。また、黄砂に対する県民の関心が高いようだが、黄砂のような県が管理できないものと満足度の関係をみるのは適切ではない。

(委員)

黄砂に言及するならば、データを示す必要があるのではないか。

(事務局)

県政モニターアンケート結果から、「大気が以前より汚れていると感じている人の割合が増加した原因はわからないが、県民は大気環境の快適性という質的な向上を望んでいることがうかがえる」として、基本的な方向を記載してよいか。なお、その原因

や快適な大気環境を評価する指標については、今後の検討課題であることを示す必要はあると考えている。

(委員)

そのことについては、問題ない考える。

(委員)

大気が汚れていると感じている人の割合が増えているが、窒素酸化物濃度は低下しているため、県民は窒素酸化物が原因で大気環境が悪くなったと評価しているのではないと思われる。一方で、オキシダントの年最高値は増加しているため、大気環境が悪くなったと評価している原因はオキシダントの年最高値によるものかもしれない。

(委員)

年最高値などの特別なデータをもって大気環境全体を評価することは適切ではない。

(委員)

そのとおりだが、県民は、感覚で評価しているため、特別な日の印象で評価している可能性もある。満足度を上げるためには、例えば、光化学オキシダントの年最高値を下げていくというような、従来はターゲットとしなかったものもこれからは対象にし、改善していくように考えないといけないのではないか。今までのやり方の転機に来ているのではないか。ものの見方を変えないと満足度は上がらないように思う。

(委員)

窒素酸化物などの大気汚染物質濃度が減少してきたことは、これまで県が取り組んできたことの成果であり、評価できるものであるが、新しい問題が出てきたことを説明するとよいのではないか。

(委員)

環境行政が転機を迎えているという非常に面白いデータだと考える。

(委員)

満足度が下がっている原因として、あとの課題につながるように、黄砂の日数、自動車排出ガスへの高い関心、依然として光化学オキシダントが環境基準値を超えていること、などを記載してはどうか。

(事務局)

いただいたご意見については、アンケートの結果なども再度分析し、記載等を検討する。

## 議事（２） 微小粒子状物質(PM2.5)の監視について

(委員)

県管理の自動車排出ガス観測局が4局あげられているが、これらは、人への影響という観点ではどうか。

(事務局)

これら 4 局は、平野部にあつて、道路交通量が多く、既に居住されているところにあるため、居住地をカバーしているという点では差がないものと考えられる。

(委員)

PM2.5 濃度は SPM 濃度と比例すると考えたのか。

(事務局)

国においても明確な関係性までは確認されていないが、ある程度関連すると予想されるため、SPM 濃度の高い高岡大坪局を選定した。

(委員)

排出源は主としてディーゼル車か。

(事務局)

主な排出源は、ディーゼル車や工場からのばい煙であるが、今回は自動車排出ガス観測局への設置であるため、大型車の交通量などを考慮し、測定局を選定した。

(委員)

県内で一番交通量の多いところはどこか。

(事務局)

国道 8 号線の富山市豊田において 24 時間交通量が 52,912 台であり、最も多い。

(委員)

第一優先として、高岡大坪局に設置するということがよいと思う。